

農業教育を通してどのように基礎学力を高め、生徒の進路実現につなげるか

東京都農業高等学校教育研究会

I 団体の概要

東京都における農業高等学校教育の発展並びに農業教育の振興のため、教職員の研修の充実を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

●本会は、東京都の農業高等学校の教職員、及びこの会の目的に賛同する者（個人会員）をもって構成している。

●本会は、教職員の授業力向上等を図るため、次の4つの部会を設けている。

- (1) 生物生産部会
- (2) 環境部会
- (3) 資源活用部会
- (4) 教養部会

●本会は、毎年3回総会を開いている。

総会は、原則として4月、8月、1月の長期休業中に開催する。

令和6年度は以下の日程で開催している。

- ・ 4月13日（土）
- ・ 9月7日（土）
- ・ 1月11日（土）

II 研究部会の活動

【生物生産部会】

第1回研修会：令和6年7月4日（木） 19名参加

「VRを活用した農業機械の安全講習（農作業事故体験）及び農業実験実習の充実と観点別評価への反映」

第2回研修会：令和6年12月6日（金） 14名参加

農研機構 農業機械研究部門の見学・講演など

【環境部会】

第1回研修会：令和6年7月5日（金） 9名参加

「造園技術実習における指導の充実」

第2回研修会：令和6年12月6日（金） 13名参加

「造園樹木の剪定技術における指導の充実」

【資源活用部会】

第1回研修会：令和6年7月4日（木） 25名参加

「真空巻締機の操作とメンテナンス、園芸加工実習における指導の充実」

第2回研修会：令和6年12月5日（木） 18名参加

「微生物を利用した食品製造と微生物実験」について

【教養部会】

第1回研修会：令和6年8月29日（木） 12名参加

草花の装飾的特性を生かし、実用性のある生花の技術を学ぶ

Ⅲ 活動の様子と総括

【7月5日の環境部会の様子】



【8月29日の教養部会の様子】



生物生産部会、環境部会、資源活用部会、教養部会の4部会に分かれ、教員や実習助手の知識や技術を高めるための研修会を年7回実施した。都内農業系高校が協力し、VRを利用した農業機械の安全講習（農作業事故体験）の園芸系分野のみならず、食品製造の基礎となる実験分野、環境調査や造園技能士の資格取得に向けた指導に至るまで、幅広く学ぶ機会を得ることができた。今後も新しい時代、多様な生徒の現状と将来につながるような農業教育の在り方に有意義な機会にできるよう、研修会を充実させていく。

Ⅳ 総会

第1回総会：令和6年4月13日（土）

令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画・予算計画、令和6年度担当部会確認

第2回総会：令和6年9月7日（土）

令和6年度事業計画・予算確認、令和6年度各部会から活動報告、講演（「食用コオロギのロードマップ」）
講師 株式会社 MNH 取締役社長 小澤 尚弘氏

第3回総会：令和6年1月11日（土）

令和6年度会務事業報告、令和6年度会計報告（案）、各研究部会発表、講演「自治体や高校と本学の連携による地域特産品開発の活発化について -学生による食品開発サポートの紹介-」
講師：阿部 茂 教授 酪農学園大学 食と健康学類長

・各回約60名参加

・令和7年度は都立瑞穂農芸高等学校が事務局となる。

（連絡先：042-557-0142）

＜令和6年度連絡先＞

団体名		東京都農業高等学校教育研究会	
代表者	所属	東京都立農芸高等学校	
	職氏名	校長 吉野 剛文	
	連絡先	03-3399-0191	
事務局	所属	東京都立農芸高等学校	
	職氏名	主任教諭 宮田 智恵	
	連絡先	03-3399-0191	
団体ホームページ	URL	—	二次元コード
		—	—